

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[FRM フロント カードの間の区別](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、使用可能な IGX フレーム リレー モジュール (FRM) モデル間の違いについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

FRM フロント カードの間の区別

FRM フロント カードは 1 つから 4 つのデータ ポートをサポートし、2.048 Mbps までで、シングルポート モードで、動作します。

FRM フロント カードは 2 フォームにあります。FRM (b) からのおよびより古い FRM を区別する最も簡単な方法は実際のカードを検知することです。より古い FRM カード 使用 ACM1 アダプタ。新しいカードは IGX 専用 カードで、シングル カードが「ネイティブ」バージョンで構成されています。機能的には、それらは同一です。

FRM の 2 つのよくあるモデルが-モデル D およびモデル E.あります。dspscds コマンドはコマンド 出力の D_{xy} または E_{xy} の FRM を表示する。それだけがそれ V.35/X.25 (モデル D) か T1/E1 (モデル E) カードです、その出力のこの最初文字 (d) は FRM の正確なタイプを告げません。

2番目の文字 (x) はハードウェアリビジョンを示します。最新の FRM (B) は Revision H に

続く Revision E にあります。前の FRM モデル (FRP+ACM1) は Revision T に現在あります。出力が Revision J または それ以降である FRM を示したものです、FRM (B) ではありません。

第 3 文字 (y) はファームウェアリビジョンを表します。FRM (B) はファームウェアリビジョン V とまたはより高い動作する必要があります。出力が Revision U または下部のであるファームウェアを示したものです、FRM (B) ではありません。

[関連情報](#)

- [WAN製品 サポートページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)